

日本での交換留学

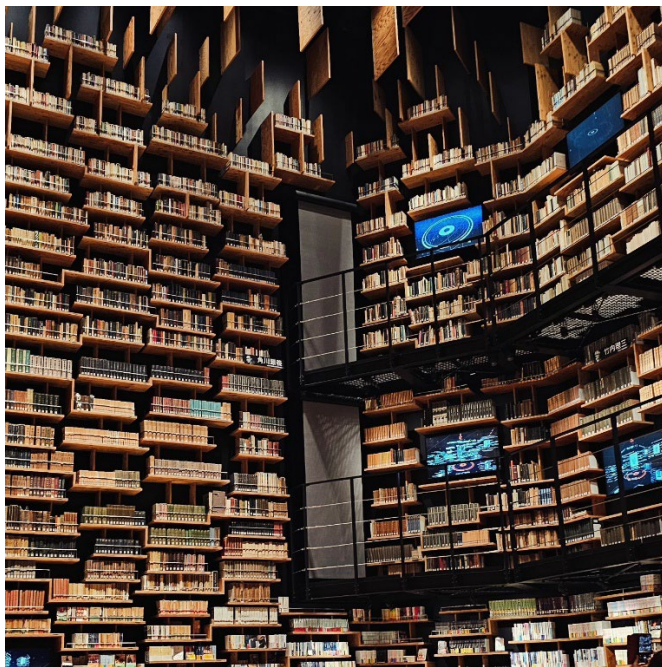
啓明大学

アン イェヒョン

k2490043

日本で半年間留学をすることにした時はどうやって海外で6か月間過ごしたらいいかすごく悩みましたが、あっという間の留学期間だった気がします。

まず、お茶の水女子大学に来て母校では学べないことを勉強することができ、色々な国籍の学生の皆さんと授業で話し合いながら今回の留学の目標であった「自分自身の視野を広げる」という目標を達成することができました。大学生活の中で一番したいプログラムで交換留学を目標としていて、お茶の水女子大学に来る前に他の日本の大学で交流プログラムに参加したり、母校で日本語スタディと演劇部などの学科の行事に参加するなど、今まで勉強してきた日本語を交換留学で活かすことができとても有意義な時間を過ごすことができました。



すべての授業がとても興味深い内容でしたが、その中でも一番記憶に残る授業は‘日本事情演習2B’の授業でした。この授業は、お茶の水女子大学に来る前にここで留学をした方々の作文を見て交換留学先をお茶の水女子大学で決めたきっかけになった授業でもあります。留学で他の国の大学の学生の皆さんと交流することはでき

ますが、他の国の小学生の皆さんと交流する機会はありませんため、この授業ではとても特別な経験をすることができました。小学生の皆さんとお互いの国の文化と社会について話せることができてとても楽しかったです。



東京で留学をしながら、旅行もたくさんして日本の文化を体験することができました。東京都内の町はもちろん、東京の近郊の鎌倉、埼玉県、横浜も旅行しました。旅行に来たらあまり行かない博物館にも行ったり、色々な人々とお話をしながら思い出を作ったりしました。

大学生活の最後の学期を日本で交換留学をして仕上げたのは私の人生で忘れられない瞬間になりました。韓国ではお出かけをするときも家族と一緒にすることが多く、一人で何かをする機会があまりなくて独立性を持っていなかったのですが、日本で過ごしながら色々なことに一人で挑戦できる経験が多くて一人の人間として成長することができる機会だったと思います。

最後にお茶の水女子大学でよく適応できるよう支えてくださった国際課の方々と音羽館の管理室の方々、交換留学生を担当してくださった萩原先生と櫻井先生に感謝いたします。そして、毎月の振り返りシートを読んで丁寧なコメントを書いてくださった李址遠先生にも心から感謝しております。